

## 貴社(事業所)の概要、雇用状況等についてうかがいます

問1 貴社の主たる業種をお聞かせください。(記述式)

( 業 )  
例:製造業・小売業・サービス業など(※不明の場合は「その他」とご記入ください。)

問2 貴社が雇用する雇用形態別の従業員数を性別ごとにご記入ください。

	男性	女性	合計
正規雇用	名	名	名
非正規雇用(※1)	名	名	名
その他(※2)	名	名	名
合計	名	名	名

※1 : パートタイマー、アルバイト、契約社員、嘱託社員など直接雇用の者

※2 : ※1 以外の雇用形態(間接雇用の派遣社員など)

問3 貴社の女性をはじめ従業員が出産などのライフイベントのタイミングで働き方の傾向に該当するものについてお聞かせください。(○は1つ)

1. 出産後も継続して就業している                      2. 妊娠・出産を機に退職している  
3. 結婚を機に退職している  
4. その他( )

問4 貴社において過去3年間で育児休暇・休業を取得された方(現在取得中の方も含む)について、お聞かせください。(○は1つ、数字をご記入ください)

男性従業員	1. いる( 名)	2. いない
女性従業員	1. いる( 名)	2. いない

問5 貴社で就学前児童を子育てしている方について、お聞かせください。

(○は1つ、数字をご記入ください) ※おおよその人数でも構いません。

男性従業員	1. いる( 名)	2. いない	3. 把握していない
女性従業員	1. いる( 名)	2. いない	3. 把握していない

問6 貴社では日頃の雇用管理上、どのような課題がありますか。(〇は3つまで)

- |              |                       |             |
|--------------|-----------------------|-------------|
| 1. 新規採用者の定着率 | 2. 中堅社員、幹部候補生の中途退職    |             |
| 3. 従業員の高齢化   | 4. 女性従業員の結婚や出産を機にした退職 |             |
| 5. 従業員の長時間労働 | 6. 従業員のメンタルヘルス        | 7. 定年退職者の活用 |
| 8. その他( )    |                       |             |
| 9. 特に課題はない   |                       |             |

### 企業が考える「子育てと就労の両立支援※」についてうかがいます

※両立支援とは、仕事と子育ての両立がしやすい多様な雇用形態や処遇、柔軟な労働時間制などに取組むこと

問7 貴社として子育てと就労支援に対して、どのように考えていますか。(〇は1つ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 企業として積極的に取り組むべき         |
| 2. ある程度の役割は果たすべき           |
| 3. 企業としてはあまり積極的に取り組むべきではない |
| 4. 企業が担うものではない             |
| 5. その他( )                  |

問8 貴社の「子育てと就労の両立支援」の現状について、お聞かせください。(〇は1つ)

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | } → 問10へ |
| 2. ある程度取り組んでいる |          |
| 3. どちらともいえない   |          |
| 4. あまり取り組めていない | } → 問9へ  |
| 5. 取り組んでいない    |          |

問9 問8で「4. あまり取り組めていない」「5. 取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。

そのように感じている理由についてお聞かせください。(〇は3つまで)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 職場での理解や協力を得ることが難しい             |
| 2. 会社や職場にどのようなメリットがあるのかわからない      |
| 3. 柔軟な働き方をしている従業員の勤怠管理や評価が難しい     |
| 4. 仕事内容や部署によって、子育てと就労の両立のしやすさが異なる |
| 5. 会社として取り組む費用や人材に余裕がない           |
| 6. 会社として必要性を感じていない                |
| 7. その他( )                         |

問10 子育てと就労の両立しやすい環境を整備することは、貴社にとってメリットがあるとお考えですか。(○は1つ)

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1. メリットはあると考える | → 問11へ   |
| 2. メリットはないと考える | } → 問12へ |
| 3. どちらともいえない   |          |

問11 問10で「1. メリットはあると考える」と回答した方へお聞きします。その理由をお聞かせください。(○は3つまで)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 企業イメージの向上           | 2. 人材採用の促進           |
| 3. 従業員の定着率の向上          | 4. 従業員のモチベーション向上     |
| 5. 子育て中の従業員の能力発揮       | 6. 生産性の向上や業務効率化の推進   |
| 7. 職場の雰囲気や人間関係の向上      | 8. チームや組織で助け合う雰囲気の醸成 |
| 9. 従業員の心身の健康の確保やストレス軽減 |                      |
| 10. その他( )             |                      |

問12 貴社の子育てと就労の両立支援に向けた取り組みをお聞かせください。(○は3つまで)

- |   |
|---|
| 1. 育児休暇・休業や短時間勤務制度の利用が、評価の際に不利益にならないようにしている |
| 2. 子育てと就労の両立に関する情報提供や相談窓口を設けている             |
| 3. 家庭の事情に応じて自宅近くの事業所への転勤や配置替え等も配慮している       |
| 4. ノー残業デーの設定                                |
| 5. 作業の無駄をなくし、早帰りを励行している                     |
| 6. 休暇取得しやすいように、相互で業務が担える体制づくりを進めている         |
| 7. 定期的な面談を行っている                             |
| 8. 管理職の意識を変えるため、管理職研修を実施している                |
| 9. 特に取り組んでいない                               |
| 10. その他( )                                  |

## 子育てと就労の両立に向けた雇用環境の整備についてうかがいます

問13 貴社では、子育てと就労の両立支援のために、現在どのような制度が整備されていますか。  
また、今後の整備の予定についてお聞かせください。(〇は1つ)

制度の種類	整備状況・予定		
育児休暇制度	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
育児のための短時間勤務制度・所定外労働免除	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
時差出勤制度	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
フレックスタイム制	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
短日勤務制度	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
休日勤務の免除	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
半日単位の休暇制度	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
時間単位の休暇制度	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
在宅勤務制度・テレワーク・サテライト勤務	1.整備済み	2.整備予定	3.整備予定はない
上記以外で整備済みや整備予定の制度があれば、記入してください。			

問14 子育てと就労の両立をしていくために、行政に期待する支援策についてお聞かせください。  
(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域における子育て支援の充実</li> <li>2. 保育サービスの充実</li> <li>3. 子育て支援施設等における支援サービスの充実</li> <li>4. 事業所に対する柔軟な働き方(時差出勤制度、フレックスタイム制、在宅勤務制度等)の推進</li> <li>5. 働き方改革や意識啓発等のセミナーの開催</li> <li>6. 子育て中の人同士が交流する場の充実</li> <li>7. スキルアップを目的とした講座・セミナーの開催</li> <li>8. 子育て・就労に関する相談窓口の充実</li> <li>9. 特に期待する支援策はない</li> <li>10. その他( )</li> </ol>
--

## 問15（須坂市に住所を有する事業所の方）

子育てと就労の両立を支援するために、須坂市では2024年度から2025年度にかけて下記の支援策を実施する予定です。貴社が関心のある事業についてお聞かせください。

※ 内容、金額について予定になります。詳細は2024年4月以降に周知いたします。

### 1. 子育て応援企業スタートアップ支援補助金

概要: 須坂市に事業所を有する企業が働き方改革等に資する職場環境改善や従業員向け啓発事業を行なうための補助金。補助金の対象は職場改善のための専門家派遣に関する費用、従業員等の社内研修に要する費用など。

補助対象経費	補助率	補助限度額
補助対象事業実施に要する経費であって、次に掲げる経費の合計額 (1)コンサルティング経費、講師謝礼、社会保険労務士等の報酬 (2)交通費、宿泊費及び日当 (3)事業の実施に必要な消耗品費 (4)研修テキストの印刷製本等に係る経費 (5)調査、分析、研修、講演等に係る経費 (6)会場使用に係る経費 (7)事業の実施に伴う負担金に係る経費	4/5 以内	50 万円

### 2. いきいき！職場改善支援金助成事業

概要: 働きやすい環境や職場環境改善のための改修などの経費の一部を対象とする。補助金の対象は女性専用トイレや託児スペース等の新設・改修など。

補助対象経費	購入先又は発注先	補助率	補助限度額
補助対象事業実施に要する経費であって、次に掲げる経費の合計額 (1)備品等の購入に係る経費(設置費を含む) (2)工事費(新設、増設、改修) (3)設計及び監理等にかかる経費	市内業者	3/5 以内	200 万円 ※備品等の購入に係る経費のみの場合は 30 万円
	市外業者	1/2 以内	100 万円 ※備品等の購入に係る経費のみの場合は 30 万円

上記事業についてお聞かせください。

・利用したいと思いますか？ はい ・ いいえ



・「はい」とお答えいただいた方にお聞きします。どの事業を利用したいですか（複数回答可）

1. 子育て応援企業スタートアップ支援補助金      2. いきいき！職場改善支援金助成事業

